



平成28年10月21日

第69回「都民の消防官」表彰について

平成28年9月21日（水）、第69回「都民の消防官」選考委員会が東京消防庁本部庁舎で開催され、厳正な審査の結果、下記の5人の受章者が決定しました。

「都民の消防官」表彰は、産経新聞社の主催により消防の第一線で活躍している職員を対象に、都民の生命、身体、財産を火災等から守るため、長年にわたり職務に精励し、その功労が特に顕著な消防官を選出し、「都民の信頼と感謝を集める人」として広く都民に紹介するため昭和30年に制定されたものです。これまで316人が受章しています。

記

1 受章者

- (1) **消防活動功労** とみづか いさお
光が丘消防署 消防司令補 冨塚 功
- (2) **救急活動功労** さとう としひこ
昭島消防署 消防司令補 佐藤 敏彦
- (3) **予防業務功労** おいかわ きょうこ
杉並消防署 消防司令補 及川 恭子
- (4) **機関運用功労** かとう としみつ
福生消防署 消防士長 加藤 利光
- (5) **航空隊整備業務功労** こにし まさあき
装備部航空隊 消防司令補 小西 政明

2 表彰式

- (1) 日 時
平成28年10月24日（月） 10時00分から
- (2) 場 所
千代田区大手町一丁目7番2号
東京サンケイビル内 大手町サンケイプラザ 4階ホール

3 その他

- (1) 取材の際は自社腕章を着用し、係員の指示に従ってください。
- (2) 駐車場はありませんので、あらかじめご了承ください。

問合せ先

〔東京消防庁 電話 3212-2111〕
〔広報課報道係 2345～2349〕

【消防活動功労】

光が丘消防署 消防司令補 冨塚 功（とみづか いさお）

昭和52年4月入庁以来、災害現場の第一線にあって、中小隊長の経験を活かし、現在は指揮担当としてその職責を自覚した身命を惜しまぬ積極的な姿勢を堅持しているものである。長年にわたり知識と技術の練磨に励むとともに、そのノウハウを遺憾なく後輩に伝え、若い職員の指導育成に取り組んでいる。強い使命感と誇りを持ち、都民の安全、安心のため全身全霊を傾注している。



【救急活動功労】

昭島消防署 消防司令補 佐藤 敏彦（さとう としひこ）

昭和50年4月入庁以来、救急業務一筋に、優れた知識と卓越した技術力を積極的に発揮し、救急救命士として数多くの救急現場において常に冷静沈着で的確な救急活動を行ってきた。救急スペシャリストとして、後進の指導にも尽力しており、現在も、救急隊長として昼夜をわかつず救急活動に徹し、都民の負託に込めている。



【予防業務功労】

杉並消防署 消防司令補 及川 恭子（おいかわ きょうこ）

昭和55年4月入庁以来、予防業務一筋に、長年培った経験、知識及び技術を遺憾なく発揮し、都民の生命、財産を守るために尽力しているものである。高度化・多様化する予防行政に対応するため、常に新しい知識と技術の研究に取り組み、予防業務の第一線で活躍している。また、査察スペシャリストとして、若い職員の指導育成にも尽力している。



【機関運用功労】

福生消防署 消防士長 加藤 利光（かとう としみつ）

昭和50年4月入庁以来、長年にわたり常に災害活動現場の第一線でポンプ車機関員・はしご車機関員等として活躍し、都民の生命、身体、財産を守るため尽力してきたものである。自らの実践力と高度な知識・技術を若年層職員に惜しみなく指導し、次世代機関員の育成に多大な成果を挙げている。



【航空隊整備業務功労】

装備部航空隊 消防司令補 小西 政明（こにし まさあき）

昭和56年9月入庁以来、航空隊の航空整備士として長年にわたり機体の整備業務及び航空消防活動の第一線で活躍しており、熱意と誇りを持って職務に取り組んでいる。現在も、ヘリコプターの性能を十分に発揮させるため、整備作業の中心となり機体の安定的な運航に寄与している。

